

広島市水道局週休2日工事試行要領（建築・設備工事）

（趣旨）

第1条 本要領は、広島市水道局発注の建築・設備工事における働き方改革促進の一環として週休2日工事を試行実施するにあたり必要な事項を定め、持続可能な建設産業の確保に向けた労働環境の改善を目的とする。

（定義）

第2条 本要領における「週休2日」とは、「完全週休2日」、「月単位の週休2日」又は「通期の週休2日」のことをいう。

- （1）「完全週休2日」とは、対象期間において全ての週単位で2日以上現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
 - （2）「月単位の週休2日」とは、対象期間において、全ての月単位で4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
 - （3）「通期の週休2日」とは、対象期間において、通期で4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
 - （4）原則として、土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定することとする。ただし、現場閉所日（現場休息日）を土曜日及び日曜日としない場合においては、上記の「土曜日及び日曜日」を受発注者間の協議により変更できるものとする。
- 2 「対象期間」とは、工事着手日から工事完了日までの期間（現場での作業期間）をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。
- 3 「工事着手日」とは、準備工事以降の現場に継続的に常駐した最初の日をいう。
- 4 「工事完了日」とは、工事目的物の施工に係る現場作業（工事完成検査まで設置が必要な安全施設類等の撤去や後片付けを除く。）が完了した日をいう。
- 5 「週単位」とは、工事着手日から起算して、1週間（7日）ごとに分けた期間をいう。なお、対象期間の最後の週において日数が7日に満たない場合は、対象期間の後を含んだ7日間の期間をいう。
- 6 「月単位」とは、工事着手日から起算して、4週間（28日）ごとに分けた期間をいう。
- 7 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等、監督員が必要と認めた現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。
- 8 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
- 9 「4週8休以上」とは、以下に示す状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

- (1)「全ての月単位で4週8休以上」とは、対象期間において、全ての月単位で現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が 28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が 28.5%に満たない月単位においては、当該月単位の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。
- (2)「通期で4週8休以上」とは、対象期間内の現場閉所（現場休息）率が 28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。

（対象工事）

第3条 対象工事は、原則、広島市水道局が発注する全ての建築・設備工事とする。

（実施方法）

第4条 「週休2日工事」の発注方式は、「発注者指定型」とし、原則、新営工事においては、月単位の週休2日、改修工事においては、通期の週休2日を必須とする。ただし、新営工事において、休館日や渇水期等に現場施工が必要で月単位の週休2日の取組により適正工期が確保できない恐れがある場合は、通期の週休2日を必須として発注することも可能とする。なお、対象期間が28日未満の工事については、月単位の週休2日の実施対象外とする。

- 2 「発注者指定型」とは、発注時から発注者の指定により週休2日を実施する工事をいう。
- 3 完全週休2日又は月単位の週休2日の実施を希望する場合、受注者は、工事着手日までに、実施の希望を発注者に書面にて提出すること。ただし、対象期間が7日未満の工事については、完全週休2日の実施対象外とし、対象期間が28日未満の工事については、月単位の週休2日の実施対象外とする。
- 4 発注者は、特記仕様書に「週休2日工事」である旨を明記するものとする。

（現場閉所（現場休息）の確認方法等）

第5条 発注者は、以下の方法により現場閉所（現場休息）の確認等を行う。

（1）工事着手前

ア 監督員は、「現場閉所（現場休息）予定日」を記載した「休日等取得計画表兼実績表」を受注者より受領し、受注者が取り組む週休2日が確保されていることを確認する。

イ 「対象期間」の設定として、工事着手日及び必要に応じて工場製作のみを実施した期間などの対象外とする期間を受注者と協議により決定する。

（2）工事着手後

ア 監督員は、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度「現場閉所（現場休息）予定日」を記載した「休日等取得計画表兼実績表」を受注者より受領し、現場閉所（現場休息）の状況を確認する。

イ 監督員は、受注者が作成する「現場閉所（現場休息）日」が記載された「休日等取得計画表兼実績表」により、定期的に対象期間内の現場閉所（現場休息）日数を確認する。

ウ 受注者は、監督員による現場閉所（現場休息）の状況の確認のため「工事週報」等に現場閉所（現場休息）日の計画と実績を記入し、監督員に提出する。

（３）その他留意事項

ア 監督員は、現場閉所（現場休息）の前日などに、現場閉所（現場休息）中の作業が発生するような指示等を行わないように配慮する。

イ 受注者は、地元条件や天候等によりやむを得ない場合は、監督員との協議により、対象期間内において振替日を設定できるものとする。

ウ 監督員は、一つの工事現場において、設備工事、内装工事等の後工程の適正な施工期間を考慮して、全体の工程に遅延が生じないように、各工事間（分離で発注した工事を含む。）の調整を適切に実施する。

エ 工事一時中止を行う場合など、対象外とする期間を変更する必要がある場合は、その都度、監督員は受注者と協議する。

オ 監督員は、統括安全衛生責任者を選任している場合で、その者が職務を行うことができないときは、労働安全衛生法等の規定に基づき、代理者を選任しなければならないことから、「実施工程表」等を受注者から受領した際に、統括安全衛生責任者を選任している受注者が現場休息の日となる場合の体制について必要な調整を行う。

（４）週休２日工事の見える化

受注者は、施設管理者の承諾を前提に週休２日工事である旨を仮囲い等に明示する。記載内容は次の例を基本とし、大きさはA３サイズ以上とする。

記載内容の例

週休２日工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休２日の確保に取り組む試行工事です。

発注者：広島市水道局〇〇課

受注者：〇〇建設株式会社

（５）適正な工期の確保

発注者は、工事着手日選択型契約方式を積極的に活用するとともに、「公共建築工事における工期設定の基本的考え方」等に基づき、全体工期のしわ寄せがないよう設備工事の施工期間を確保するなど適正な工期を設定する。

なお、新築工事及び増築工事の工期の設定にあたっては（一社）日本建設業連合会の「建築工事適正工期算定プログラム」を参考活用する。

(6)「休日等取得計画表兼実績表」等の提出又は揭示資料について、虚偽の記載等が工事中又は工事完成後に判明した際には、指名停止となる場合がある。

(積算及び変更方法)

第6条 発注者は、月単位又は通期の4週8休以上を前提に、第7条の表(表1又は表2)及び別表により労務費等を補正し工事費を積算して予定価格を作成する。

現場閉所(現場休息)の達成状況を確認し、月単位の4週8休に満たない場合、請負代金額のうち労務費等補正分の補正係数を1.00に変更し、広島市水道局建設工事請負契約約款(以下、「約款」という。)第24条の規定に基づき、請負代金額を変更する。

完全週休2日又は月単位の週休2日の実施を希望し、その達成が確認できた場合は、請負代金額のうち労務費等補正分の補正係数を、第7条の表(表1又は表2)及び別表により変更し、約款第24条の規定に基づき、請負代金額を変更する。

2 現場での施工期間(実作業日数)が土曜日及び日曜日を跨がない7日間未満の工事については、対象期間における現場閉所状況が4週8休に満たなかった場合であっても通期の4週8休以上であったものとみなす。

ただし、この場合、受注者は「休日等取得計画表兼実績表」に対象期間の前後の土曜日及び日曜日の休日取得状況を明示し発注者へ提出すること。

(補正方法)

第7条 公共建築工事積算基準等による工事においては、表1の現場閉所(現場休息)の状況に応じた補正係数により現場管理費及び労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(市場単価以外の材工単価)の労務費)を補正する。なお、市場単価及び物価資料の掲載価格については別表1から3までの補正係数を乗じて補正を行う。

土木工事標準積算基準書及び下水道用設計標準歩掛表による設備工事においては、表2の現場閉所(現場休息)の状況に応じた補正係数により労務費、共通仮設費率及び現場管理費率を補正する。なお、市場単価(港湾工事は補正対象外)及び土木工事標準価格については別表4から6までの補正係数を乗じて補正を行う。

表1

	現場閉所(現場休息)の状況	補正係数
(1)	完全週休2日 (対象期間内全ての週単位ごとに現場閉所(現場休息)日数が2日以上)	労務費: 1.02 現場管理費: 1.01
(2)	月単位の4週8休以上 (対象期間内全ての月単位ごとに現場閉所(現場休息)率28.5%(8日/28日)以上)	労務費: 1.02

表 2

	現場閉所（現場休息）の状況	補正係数
(1)	完全週休 2 日 (対象期間内全ての週単位ごとに現場閉所（現場休息）日数が 2 日以上)	労務費：1.02 共通仮設費率：1.02 現場管理費率：1.03
(2)	月単位の 4 週 8 休以上 (対象期間内全ての月単位ごとに現場閉所（現場休息）率 28.5%（8 日/28 日）以上)	労務費：1.02 共通仮設費率：1.01 現場管理費率：1.02

（工事成績評定）

第 8 条 発注者は、対象期間において週休 2 日を達成できた場合は、工事成績評定の「Ⅱ. 工程管理」において評価するものとする。なお、週休 2 日を達成できなかった場合において、減点（ペナルティ）は行わないものとする。

2 週休 2 日を達成できた場合は、受注者へ通知する「工事成績評定通知書」の「7. その他特記事項」において施工実績を証明する。なお、工事成績評定の対象とならないものについては、「休日等取得計画表兼実績表」により施工実績を証明する。

3 発注者は、明らかに週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、受注者への聞き取りを実施し、その結果を技術管理課へ報告すること。

（その他）

第 9 条 この要領に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

附則

（施行期日）

1 この要領は、令和 2 年 7 月 1 日から施行する。

（適用）

2 この要領は、施行日以降に、入札公告又は指名通知を行う工事から適用する。

（施行期日）

1 この要領は、令和 2 年 7 月 3 1 日から施行する。

（適用）

2 この要領は、施行日以降に、入札公告又は指名通知を行う工事から適用する。

（施行期日）

1 この要領は、令和 5 年 8 月 1 日から施行する。

（適用）

2 この要領は、施行日以降に、入札公告又は指名通知を行う工事から適用する。

(施行期日)

1 この要領は、令和6年4月22日から施行する。

(適用)

2 この要領は、施行日以降に、入札公告又は指名通知を行う工事から適用する。

(施行期日)

1 この要領は、令和6年11月1日から施行する。

(適用)

2 この要領は、施行日以降に、積算にかかる工事から適用する。

(施行期日)

1 この要領は、令和7年4月1日から施行する。

(適用)

2 この要領は、施行日以降に、入札公告又は指名通知を行う工事から適用する。

(施行期日)

1 この要領は、令和7年11月7日から施行する。

(適用)

2 この要領は、施行日以降に、積算にかかる工事から適用する。また、プラント設備工事については、11月以降に改定した単価で積算にかかる工事から適用する。

別表 1 建築工事の補正係数（完全週休 2 日（土日）及び月単位の週休 2 日）

工種	摘要	新営	改修
仮設工事	物価資料	1.01	1.01
土工事	市場単価、物価資料共通	1.01	1.01
地業工事	物価資料	1.01	1.01
鉄筋工事	市場単価、物価資料共通	1.01	1.01
コンクリート工事	市場単価、物価資料共通	1.01	1.01
型枠工事	市場単価、物価資料共通	1.01	1.01
鉄骨工事	物価資料	1.02	1.02
既製コンクリート	物価資料	1.01	1.01
防水工事	市場単価	1.01	1.08
防水工事（シーリング）	市場単価	1.01	1.14
防水工事	物価資料	1.01	1.01
石工事	物価資料	1.01	1.01
タイル工事	物価資料	1.01	1.01
木工事	物価資料	1.01	1.01
屋根及びとい	物価資料	1.01	1.01
金属工事	市場単価	1.01	1.09
金属工事	物価資料	1.01	1.01
左官工事 （仕上塗材仕上）	市場単価	1.01	1.01
左官工事 （仕上塗材仕上以外）	市場単価	1.01	1.16
左官工事	物価資料	1.01	1.01
建具（ガラス）	市場単価	1.01	1.10
建具（シーリング）	市場単価	1.02	1.16
建具	物価資料	1.01	1.01
塗装工事	市場単価	1.01	1.15
塗装工事	物価資料	1.01	1.01
内外装工事	市場単価	1.01	1.13
内外装工事 （ビニル系床材）	市場単価	1.01	1.08
内外装工事	物価資料	1.01	1.01
内外装工事 （ビニル系床材）	物価資料	1.01	1.01
仕上げユニット	物価資料	1.01	1.01
排水工事	物価資料	1.01	1.01
舗装工事	物価資料	1.01	1.01
植栽及び屋上緑化	物価資料	1.01	1.01

別表2 電気設備工事の補正係数（完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日）

工種	摘要	新営	改修
配管工事	電線管、2種金属線び及び同ボックス	1.01	1.19
	ケーブルラック	1.01	1.15
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.01	1.18
	プルボックス	1.01	1.13
	プルボックス用接地端子	1.00	1.00
	防火区画貫通処理：ケーブルラック用（壁・床）	1.01	1.14
	防火区画貫通処理：金属管・丸型用	1.01	1.05
	（電動機その他接続材工事） 金属製可とう電線管	1.01	1.15
配線工事	600V絶縁電線及び600V絶縁ケーブル	1.01	1.17
接地工事	（接地極工事） 銅板式、銅覆銅棒、接地極埋設票（金属製）	1.01	1.01

別表第3 機械設備工事の補正係数（完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日）

工種	摘要	新営	改修
保温工事	配管用、ダクト用及び消音内貼	1.01	1.15
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧ファン類	1.01	1.15
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.02	1.22
衛生器具設備 （ユニットを除く）	取付手間のみ	1.02	1.22

別表 4 土木工事市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位	完全 週休 2 日
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01

別表 5 下水道工事市場単価の補正係数

名称	規格・使用	補正係数	
		月単位	完全 週休 2 日
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組み立てマンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管敷設及び支管取付工	1.01	1.01

別表6 土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位	完全 週休2日
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02
鋼製排水溝設置工		1.02	1.02
表面被覆工（コンクリート保護塗装）	固定足場	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01
表面含浸工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
連続繊維シート補強工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
剥落防止工（アラミドメッシュ）	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
漏水対策材設置工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
防草シート設置工		1.01	1.01
紫外線硬化型FRPシート設置工（ポリエ ステル樹脂）	固定足場	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01
塗膜除去工		1.02	1.02
バキュームブラスト工		1.01	1.01
道路反射鏡設置工	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）		1.02	1.02
機械式継手工		1.02	1.02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1.01	1.01
ノンコーキング式コンクリートひび割れ 誘発目地設置工		1.01	1.01
FRP製格子状パネル設置工		1.00	1.00
侵食防止用植生マット工（養生マット 工）		1.02	1.02
支承金属溶射工		1.02	1.02
耐圧ポリエチレンリブ管（ハウエル管）		1.02	1.02